



令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

4月17日(木)に、文部科学省が実施した全国学力・学習状況調査について、調査結果が公表されましたので、その概要をお知らせします。



「全国学力・学習状況調査」

全国の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てること等を目的に、小学校6年生、中学校3年生を対象に文部科学省が実施する全国調査です。「教科に関する調査」と「質問調査」の2つが実施されました。

<教科に関する調査>実施教科:国語、算数

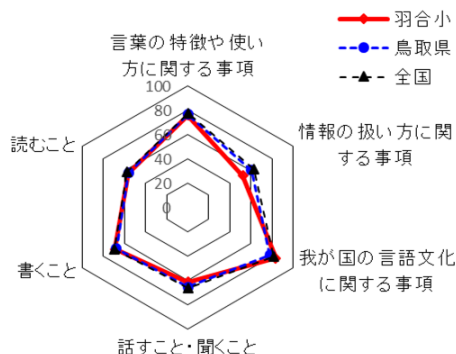
出題内容

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

平均正答率

	国語	算数	理科
羽合小学校	64	50	53
鳥取県	65	55	56
全国	66.8	58.0	57.1

国語



<主な状況>

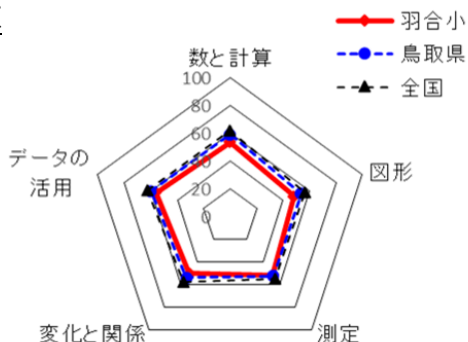
◇「世代による言葉の違いに気がつく等の言語文化に関する問題」は、全国、県平均正答率を上回っていました。

本校83.3%(県比較+5.3%、全国比較+2.1%)

◇目的に応じて簡潔にまとめたり、必要な情報を見つけて書いたりする記述式の問題に課題が見られました。

本校48.9%(県比較-7.2%、全国比較-7.3%)

算数



<主な状況>

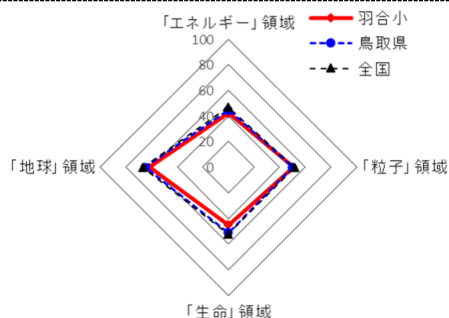
◇学習指導要領における領域の中で、特に「図形」領域はすべての設問で全国、県平均正答率を下回っていました。

・「平行四辺形の性質を基に作図する力を見る問題」

本校46.7%(県比較-8.3%、全国比較-11.6%)

◇「目的に応じて適切なグラフを選び、選んだ理由を記述する問題」は、県平均、全国平均を上回りました。

理科



<主な状況>

◇植物のつくりや発芽条件等を問う「生命」領域が、全国、県平均正答率との差が最も大きい領域でした。

◇「海面水位の上昇した理由を予想する問題」は、県平均、全国平均を上回っていました。

本校70.0%(県比較+5.1%、全国比較+4.4%)

<質問調査>

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査。

主な肯定的回答の状況

- 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか(94.5%) 県比較+3.1%、全国比較+3.5%
- 自分には、よいところがあると思いますか(87.7%) 県比較+0.9%、全国比較+0.8%
- 将来の夢や目標を持っていますか(94.4%) 県比較+10.6%、全国比較+11.3%
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人に相談できますか
(73.4%) 県比較+2.6%、全国比較+2.8%
- 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思えますか
(85.5%) 県比較+3.3%、全国比較+3.0%
- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると
思いますか(94.4%) 県比較+5.6%、全国比較+7.0%
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか
(82.3%) 県比較+1.1%、全国比較+1.4%
- ▲毎日同じくらいの時刻に寝ていますか(76.7%) 県比較-6.8%、全国比較-5.2%
- ▲学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか<2時間以上>
(14.5%) 県比較-6.5%、全国比較-10.4%
- ▲国語の勉強は好きですか(46.6%) 県比較-12.0%、全国比較-11.7%
- ▲算数の勉強は好きですか(42.2%) 県比較-14.0%、全国比較-15.7%



<今後の取組>

この全国学力・学習状況調査の結果は、小学校1年生から積み上げてきた学習の結果です。本校では、夏季休業中に、教職員で結果の分析を行うとともに、教職員が正答率の低かった問題を解き、課題について考える等、今後の授業改善の方向性や各学年が具体的に取り組むことを確認しました。児童たちの力をより一層伸ばしていけるよう授業改善を進めてまいります。

(具体的な取組例)

- ・初めて読む長い文章を読み取る活動を意図的に行う。
- ・文章の要約の活動を行い、キーワード等必要な情報を読み取る力を育成する機会を設ける。
- ・理由、方法や手順、事柄や事実のうち何を説明するのかをはっきり意識させ、算数用語を使って説明する書く機会を設ける。
- ・時間を決め、時間内に解き切る経験を大切にする。



質問調査では、「将来の夢や目標を持っている」や「困ったことがある時、大人に相談できる」児童の割合が全国に比べ高い状態でした。また、朝起きる時刻、寝る時刻の回答から、睡眠時間が短い傾向にあるのではないかと分析しています。生活リズムを整え、学校での学習に集中して取り組むことができるよう引き続き家庭での声掛けをお願いします。